株式会社ユーネットランス

DX認定取得に向けて

DX推進

データとデジタル技術で、安全・安心な物流の未来をつくる。

Universal Network ― あらゆる人と つながりを。

MESSAGE

代表メッセージ

**持続的な成長と
企業価値の向上へ。**

株式会社ユーネットランス
代表取締役社長
熊澤 洋一

物流インフラを支える企業として、安全・安心なサービスの提供を最優先に、データとデジタル技術を活用した継続的な業務改善に取り組みます。

業務の可視化や標準化を進めることで、品質と生産性の向上を実現するとともに、社員がより付加価値の高い業務に力を発揮できる環境を整備します。

また、人材育成と組織横断的な推進体制の構築を通じて、変化する事業環境に柔軟に対応できる企業基盤を確立し、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

© 2026 株式会社ユーネットランス

CONTENTS

目次 ｜ DX認定 開示6項目

01 当社が目指す姿・強みとビジネスモデル
Our Direction & Business Model

02 DX戦略の策定
Formulation of DX Strategy

03 戦略を効果的に進めるための体制
Organizational Structure

04 ITシステム・デジタル環境の整備
IT Systems & Digital Environment

05 成果指標（KPI）と戦略の見直し
KPIs & Strategy Review

06 サイバーセキュリティ対策の推進
Cybersecurity Measures

別掲：情報セキュリティ基本方針

© 2026 株式会社ユーネットランス

01

当社が目指す姿・強みとビジネスモデル

当社が目指す姿

ミッション

社会との調和の実現

安全活動の推進と持続的な環境活動を通し、地域社会に貢献します

お客様の満足の実現

最適な物流ソリューションを提供し、お客様の期待にお応えします

共に働く人達の満足の実現

会社に関わる全ての人達の夢に寄り添い、共に成長していきます

高度な輸送システムで人々に喜ばれ、豊かな社会の実現を目指します。
その実現に向けて、DXとHX（人と組織の変革）を掛け合わせ、安全・安心な物流インフラを支えるとともに、現場オペレーションの継続的な改善を積み重ね、重点取組を推進します。

重点取組

01 データの活用

業務活動から得られる情報や知見をデータとして活用し、業務の高度化と継続的な改善を推進します。

02 企業基盤の構築

デジタル技術の活用を通じて、変化に柔軟に対応できる企業基盤を構築します。

03 持続的な成長

取り組みを通じて、持続的な成長と企業価値の向上を実現します。

問題解決の重要手段

DX

Digital Transformation

人への投資と変革

HX

Human Transformation

© 2026 株式会社ユーネットランス

01

当社が目指す姿・強みとビジネスモデル

ビジネスモデルの方向性

データとデジタル技術を活用し、業務プロセスの継続的な改善を推進します。データの可視化・分析とDX推進を担う人材の育成を進め、品質・生産性の向上と新たな価値創出を目指します。

データ活用

業務活動を通じて蓄積されるデータを収集

可視化・分析

データを可視化・分析し、品質と生産性の向上へ

人材育成

DX推進を担う人材を育成し、データの活用から可視化・分析までを支える組織全体の実行力を強化

価値創出

環境変化に柔軟に対応し、持続的な成長と価値を創出

自律的な改善活動を継続する組織づくりを通じて、より安定したサービス提供を実現します。
自社のDXだけでなくお客様サービスのDXを推進します。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

基本方針と重点領域

基本方針
BASIC POLICY

「当社が目指す姿」の実現に向けて、DX（デジタル）とHX（人)を両輪で推進します。

推進の考え方
DXは目的ではなく手段と位置づけ、HX（人材育成・組織変革）を原動力に、現場起点で経営課題を解決します。

重視すること
安全・品質を最優先に、データに基づく判断と、それを担う人材の育成・定着を一体で進めます。

進め方
可視化・分析・改善・定着の流れに沿って、全ての部門が連携して段階的に変革を進めます。

重点領域
安全・品質の確保と業務改善は、当社の事業基盤を支える重要な領域であり、DX・HXの重点領域として推進

01 安全・品質の向上
安全・品質に関する情報をデータで可視化・分析し（DX）、
教育と改善活動の定着により現場の実行力を高めます（HX）。

02 業務改善の推進
業務プロセスの可視化・標準化とデジタル活用に加え、
改善を担う人材の育成により継続的な生産性向上を実現します。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

重点領域① 安全・品質の向上

安全および品質に関する情報をデータとして活用し、以下の取り組みを通じて、継続的な改善活動と再発防止の仕組みづくりを推進します。

01

安全教育の徹底

計画的な安全教育・研修を実施し、実施状況をデータで管理。全社員の安全意識と現場対応力を継続的に高めます。

02

品質改善提案の推進

現場からの品質改善提案を収集・共有する仕組みを整備し、優良事例を全社へ展開。ボトムアップの継続的な改善を促進します。

03

再発防止の仕組みづくり

事故・不具合の情報を記録・分析して原因を可視化し、対策を標準化。同種事象の再発防止と未然防止につなげます。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

重点領域② 業務改善の推進

業務プロセスの可視化・標準化を進めるとともに、デジタル技術を積極的に活用し、以下の手法を通じて業務効率化と生産性向上を推進します。

01

電子マニュアルの活用

マニュアルを電子化し、標準作業手順をいつでも参照できる環境を整備。業務の標準化と教育・引き継ぎの効率化を進めます。

02

ローコードツールの活用

ローコードツールを活用して現場主導で業務アプリや帳票を内製化。定型業務の自動化・効率化を迅速に実現します。

03

AI・デジタルツールの活用

AIやデジタルツールを活用して定型業務などの業務負荷を軽減。社員はより付加価値の高い業務へ注力できる環境をつくります。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

DX推進ロードマップ

段階的にデータ活用基盤を整備し、業務改善の定着からより効果的な改善と新たな価値創出へと発展させます。

STEP 1

第一段階

情報の収集・蓄積・
可視化基盤の整備

STEP 2

第二段階

データ活用による
業務改善の定着

STEP 3

第三段階

より効果的な改善と
新たな価値創出

効果的な改善

価値創出

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

STEP 1 ｜ 情報の収集・蓄積・可視化基盤の整備

STEP 1

第一段階

情報の収集・蓄積・可視化基盤の整備

目的

現場で発生する情報をデータとして蓄積し、
活用できる状態をつくります。

具体策

1. 安全・品質情報のデータ化
2. 業務手順の標準化と蓄積
3. 改善提案・業務実績情報の蓄積
4. 情報共有基盤の整備
5. 各種業務データの可視化

安全・品質情報や業務実績情報等のデータ蓄積を進めるとともに、業務手順の標準化を推進します。
また、必要な情報を迅速に参照できる情報共有環境を整備し、業務の可視化を進めます。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

STEP 2 ｜ データ活用による業務改善の定着

STEP 2

第二段階

データ活用による業務改善の定着

目的

蓄積したデータを業務改善に活用し、改善の取り組みを定着させます。

具体策

1. 事故・品質情報の分析
2. 改善提案活動の活性化
3. 業務データを活用した課題抽出
4. 教育と改善活動の連動
5. 業務効率化・自動化の推進

蓄積した安全・品質データや業務データを活用し、業務課題の可視化と改善活動を推進します。
また、教育活動や改善提案制度と連携し、継続的な業務改善を定着させます。

© 2026 株式会社ユーネットランス

02

DX戦略の策定

STEP 3 ｜ より効果的な改善と新たな価値創出

STEP 3

第三段階

より効果的な改善と新たな価値創出

目的

改善の質をさらに高め、経営やサービス価値の向上にデータを活用します。

具体策

1. データ分析による意思決定支援
2. 安全・品質改善の高度化
3. 現場の知見の共有・継承
4. デジタル技術を活用した業務支援
5. 先進技術への対応と新たな価値創出

蓄積したデータや業務知識を活用し、原因分析と効果検証により改善の質を高めます。
また、継続的な改善活動を通じて、安全・品質のさらなる向上と新たな価値創出を目指します。

© 2026 株式会社ユーネットランス

03

戦略を効果的に進めるための体制

推進体制と人材育成

経営者の統括のもと、DX推進責任者を中心に部門を横断して連携し、必要な人材とIT環境を計画的に確保しながら、施策の進捗管理と定着を図ります。



人材育成

- DX推進を担う人材の育成を重要な経営課題と位置づけ、データ活用および業務改善に関する基礎スキルの習得を段階的に推進します。
- 現場主体の改善活動を支援し、自律的に改善を進められる組織づくりを進めます。
- 教育の実施状況やデジタル技術の活用状況を定期的に確認し、次年度の育成計画に反映します。

© 2026 株式会社ユーネットランス

04

ITシステム・デジタル環境の整備

データ活用環境の整備方針

業務で発生するデータを、収集・蓄積・可視化・活用という流れで有機的につなげ、業務実態の把握から課題の発見、安全と品質の向上までを段階的に実現できる環境を整備します。

1
収集
業務実態の把握

2
蓄積
情報資産の形成

3
可視化
課題の発見

4
活用
安全と品質の向上

各段階を支える基盤として、通信・端末環境の整備とセキュリティの確保を進めるとともに、クラウドサービスやデータ活用基盤を段階的に整えます。

© 2026 株式会社ユーネットランス

05

成果指標（KPI）と戦略の見直し

達成度を測る指標（KPI）

DX戦略の達成度を継続的に確認するため、安全・品質および生産性に関する指標を設定し、定期的に評価を行い、その結果を戦略の見直しに反映します。

安全・品質 KPI
Safety & Quality

教育・改善活動・再発防止の定着状況を評価

安全教育の実施状況
目的：安全意識の向上・再発防止
確認内容：教育受講率・教育実施回数
目標：教育受講率．．．100%
　　教育実施回数．．．年度毎計画回数設定

品質改善提案件数
目的：継続的な現場改善の活性化
確認内容：改善提案件数
目標：小改善提案・創意工夫提案．．．12件以上/年/人

生産性 KPI
Productivity

業務改善の成果を定量的に把握

業務処理時間
目的：業務の効率化
確認内容：定型業務の処理時間・改善前後の比較
目標：生産性向上1.5%（IT活用以外を含め年度毎に設定）

自動化による削減効果
目的：生産性の向上
確認内容：削減時間・自動化件数
目標：生産性向上1.5%（IT活用以外を含め年度毎に設定）

© 2026 株式会社ユーネットランス

05

成果指標（KPI）と戦略の見直し

ITシステムの課題把握とDX戦略の見直し

課題把握の考え方

経営者のリーダーシップのもと、デジタル技術の動向と自社ITシステムの現状を踏まえた課題を定期的に把握し、その結果をDX戦略およびロードマップの見直しに反映します。

実施概要

経営者主導による現状分析

目的

自社のDX推進状況と課題の把握

実施内容

経営者を中心に関係部門が参加し、「DX推進指標」等を用いた自己診断を実施

課題の整理とDX戦略への反映

目的

課題の優先度付けと戦略の見直し

実施内容

把握した課題を整理・評価し、重点領域とロードマップの見直しに反映

© 2026 株式会社ユーネットランス

06

サイバーセキュリティ対策の推進

サイバーセキュリティ対策



情報資産を保護するためのサイバーセキュリティ対策を推進します。運用状況の確認と継続的な改善を行い、セキュリティ水準の向上に取り組みます。

端末・アカウント管理

アクセス権限管理

データバックアップ

社員教育

SECURITY ACTION ★★
（二つ星）を自己宣言しています

※ セキュリティ対策の詳細は、情報資産保護の観点から一部非公開とします。

© 2026 株式会社ユーネットランス

06

サイバーセキュリティ対策の推進

端末・アカウント管理／アクセス権限管理

端末・アカウント管理

目的

情報資産への不正アクセス防止

実施内容

・会社支給端末の適切な管理を実施

・アカウントの発行・変更・削除を適切に管理

・利用状況の確認を定期的に実施

アクセス権限管理

目的

必要な人のみが必要な情報へアクセス

実施内容

・業務に応じた権限設定

・定期的な権限見直し

・情報資産へのアクセス状況の確認

© 2026 株式会社ユーネットランス

06

サイバーセキュリティ対策の推進

データバックアップ／社員教育

データバックアップ

目的

障害・サイバー攻撃・災害時の業務継続

実施内容

・業務データのバックアップ実施

・バックアップの取得状況確認

・復旧手順の整備と見直し

社員教育

目的

人的リスクの低減

実施内容

・情報セキュリティに関する啓発活動・教育の実施

・標的型攻撃メール等への注意喚起・訓練

・インシデント発生時の復旧訓練の実施

© 2026 株式会社ユーネットランス

Universal Network

データとデジタル技術で、
持続的な成長と企業価値の向上へ。

私たちは、安全・安心な物流サービスを通じて社会に貢献するとともに、DX（デジタルの変革）とHX（人と組織の変革）を両輪に、変化に柔軟に対応できる企業基盤を築いてまいります。

株式会社ユーネットランス

別掲 情報セキュリティ基本方針

【情報セキュリティ基本方針】

当社は、物流サービスの提供を通じてお客様および取引先からお預かりした情報資産を適切に保護し、
安全で信頼される事業活動を継続するため、情報セキュリティ対策を推進します。

《情報資産の適切な管理》

情報資産の機密性・完全性・可用性を確保し、不正アクセス、漏えい、改ざん、紛失等の防止に努めます。

《法令および規則の遵守》

情報セキュリティに関する法令、規則、契約上の要求事項を遵守します。

《教育および啓発》

全従業員に対し、必要な教育および啓発活動を実施し、情報セキュリティ意識の向上を図ります。

《継続的な改善》

情報セキュリティ対策の有効性を定期的に確認し、必要な見直しと改善を推進します。

2026年9月1日　株式会社ユーネットランス